

学校だより
第37号

報徳

R 3.2.15

校長 松下 公博

「鬼はく外！ 福はく内！」

自分の福を大切しましょう

体育館の横にある梅の木に花が咲きました。暦の上では春です。春の初めに子ども達にこんな話をしました。

立春の前日は節分です。昔から節分には豆撒きをするという風習があります。昨日の給食にも豆のお菓子がありましたね。最近はお恵方巻という巻きずしを食べる家も多くなりました。皆さんの家では何かしましたか？先生

は、大きな恵方巻を作った食べました。南東の方向を向いて、黙って食べましたが、あまりに大きすぎて一口でギブアップ。本当は一本食べきれないといけないと思うので、ちょっと残念でした。でもその後には切っておいしくいただきました。「鬼は外、福は内」春を迎えるにあたって、いいことがたくさんあるように願いを込めるこの日本文化は、今の自分を見

つめるよい機会になります。みなさんの中にいる「出て行ってほしい鬼」は何鬼ですか？自分がそうでなければいいのになと思うところでは、朝寝坊鬼、勉強嫌い鬼、友だちとケンカ鬼、忘れ物鬼、好き嫌い鬼など苦手なことは誰にだってあります。これらの鬼を自分の中から追い出したと願うことは、「もっと、いい人になりたい。成長したい」という大

切な感情です。もちろん豆を撒くだけではこの鬼たちは出ていきません。中には「鬼舞辻無惨」

くらい強力なやつもいます。この鬼をやっつけて追い出したり、封じ込めたりできるのは自分だけです。毎日の生活の中で、自分で考えて、より良い行動を心がけて、それを続けていくことが大切です。

実は、この鬼をやっつけるのに最もいい方法があります。それは自分の中にある福を大切にすることです。誰の中にも、優しさ、賢さ、真面目さ、明るさ、強さ、などたくさん福がいます。みなさんの中にいる福は何ですか？自分の中の福は鬼にくらべて気づきにくいものです。

周りの人が気づいてくれることもあります。この福は、自分自身や周りの人を幸せにする、みなさんがこれから生きていく上でとても大切なものです。鬼をやっつけることに比べて福を大切にすることはそれほど難しいことではありません。「自分には、周りの人を幸せにする人などところがあるんだ」といつも忘れずに思っていればいいのです。どんなことがあっても疑ったりせずに、そこだけは絶対大丈夫と信じていきましょう。

今年度も残すところあと二か月。次の学年に向けて頑張っしてほしいと思います。ご家庭でも励ましの言葉をよろしくお願いします。

お知らせ

皆さんに一つ残念なお知らせをしなければなりません。このお便りで以前お知らせしました、来年度予定されていた体育館とプールの建て替え工事が市の財政上の事情により延期されることになりました。既に設計も最終段階に入り、電気設備の移設まで完了していましたが、私も大変驚きました。着工時期はまだはっきりしないのですが、数年後という事です。楽しみにしていた子ども達、地域の方々に申し訳ありませんが、もうしばらく待っていてほしいと思います。